

## 四季を感じる田舎町の暮らし

人は、めぐる季節の移ろいで時の流れを知ることができます。

日本には、美しい四季があります。都会で忙しい日々を追われていると気付かないかもしれない、こんな素晴らしいことを忘れかけている現代人のための人にやさしく、地球にやさしいまちづくりを提案します。

何十年も昔にタイムスリップしたみたいで、辺り一面大自然の広がるのどかな風景のなかに私の住みたい町があります。そこは、海の真ん中に浮かぶ小さな島です。透き通る青の海に四方を囲まれた島は、車で一時間もあれば一周出来るほどの大きさ。

島へは、天然の水族館が出迎えてくれる海底トンネルを歩いて行きます。

ジャングルのような大自然の中には、子供から大人まで楽しめるテーマパークがあります。

テーマパークのなかには、木の温もりを感じながら遊べる木製のジェットコースター、メリーゴーランド、観覧車、ジャングルジムがあります。直接、動物と触れ合える動物園にはたくさんの種類の動物たちがいます。広大な牧場では、馬や牛がのんびり日向ぼっこをしています。ゆっくりと疲れを癒す、露天風呂もあり、そこからは、島全体と海を一望することができます。

木々の間には、ハンモックが掛けてあり、そばを流れる清流の音を聞きながら思い思いの時間を過ごすことができます。

ドライブを楽しみたい時には、太陽光で走るソーラーカーを使います。馬やらくだ等の動物達も立派な交通手段として大活躍です。

ここでは、すべてがてづくりです。みんなの住む家も島の住民が協力しあって建てます。海辺にはそれぞれの家族のログハウスが立ち並びます。

食料ももちろん自給自足です。その季節の旬の味が、堪能できます。捕れたての海の魚、畑でできた旬の野菜、空気のきれいな場所だからこそ手に入る新鮮でおいしい水、乳製品の牛乳やチーズ、バターも牧

場で手作りです。

休みの日は、ショッピングや映画に行かなくても、少しも退屈ではありません。畑仕事や草木の手入れ、動物のお世話……

生活していくため、自然を守るためにやることはたくさんあります。

環境破壊が大きな問題となっている今、地球から自然がなくなる日はそう遠くないと思います。人は、便利な生活を手に入れました。その代償として、地球から多くの自然が消えていっています。

ある日、ラジオから聞こえた『地球が泣いています』という言葉に強く衝撃を受けました。地球を守るのは私たち人間しかいないのです。

緑が無くなると、季節の移り変わりが目でみてわかりません。地球温暖化が進むと異常気象により、肌で四季を感じることもできなくなります。とても悲しいことです。

私の住みたいまち。そこには、いつまでも残る美しい自然があれば十分です。